

# MULTIPLEX

## BLIZZARD ブリザード キット 組み立て補助説明書

当説明書は、キットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。  
各国語版の「GB」のページ(P15～26)が英語表記です。

この度はマルチブレックス社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ラジコン飛行機は取り扱いを誤ると自分、及び他人に危害を及ぼす可能性が常にある事を忘れずに最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入して万一の事故に備えてください。

### 警告 注意 安全のための確認

- 1) 本機体は中、上級者向けの機体で、入門者の単独飛行は困難です。  
経験のあるフライヤーに指導を仰いでください。
- 2) 各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。  
モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。  
特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性があります。
- 3) 動力用のバッテリーのコネクターを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にしてモーターコントロールスティック等が必ず OFF 状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを接続してください。  
守らないと最悪の場合、勝手にモーターが回転して危険な状態になります。  
モーターのスピードコントローラーの取り扱いも熟知してください。
- 4) 機体を持つ時は受信機スイッチの ON - OFF に関わらず、プロペラに触れないように保持してください。  
万一のプロペラの回転に注意してください。
- 5) 機体を離陸させる時は人に向けてはいけません。手投げの場合も人を背後にした向きで手投げしてください。  
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6) 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。  
熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなりパワーが低下します。
- 7) 機体は高温になる場所に保管しないでください。変形して各部の角度が狂い正常な飛行ができなくなり危険です。  
特に夏期の車中にはご注意ください。

### キット内容のチェック

各国語版の説明書 P18 のパーツリストに沿って欠品がないか調べます。  
もし欠品や破損品がある場合は ハイテックマルチブレックスジャパン迄ご連絡ください。

### 推奨搭載メカ等

- ・送信機: 6ch以上のフラップロン、Vテール機能等を有する送信機。
- ・受信機: Hitec FREEDOM9S 29g NEUTRON 6S 重量 16g
- ・サーボ: Hitec HS-65HB×4 重量 11.2g トルク 1.9Kg/cm

### パワーユニット(別売)

#### ブリザード用パワーユニット(品番 332639)

- ・モーター: (KV1100)
- ・プロペラ: 9x7 折ペラ
- ・スピードコントローラー: 容量 37A
- ・スピナー: 39mm

### チューニングパワーユニット(別売)

#### ブリザード用チューニングパワーユニット(品番 332643)

- ・モーター: (KV1350)
- ・プロペラ: 9x6 折ペラ
- ・スピードコントローラー: 容量 54A
- ・スピナー: 39mm

**動力用バッテリー**：3セル2100mAh～3セル2500mAh、Li-Po 電池

- ・ Li - Batt BX 3/1-2100 (品番 157131)
- ・ Li - Batt BX 3/1-2500 (品番 157191)

### 機体データ

・全長	910mm
・全幅	1380mm
・翼面積 (FAI)	19.4 dm <sup>2</sup>
・重量	グライダー 735g
	電動 820g
・翼面荷重 (FAI)	38/42 g/dm <sup>2</sup>

### 接着剤

当製品の素材はELAPOR Formです。中粘度又は高粘度の瞬間接着剤と硬化促進剤を使用してください。図の中のCAと書いてあるのは瞬間接着剤の略号です。硬化して固くなるエポキシ接着剤はあまり適しません。墜落の激しいショックで剥離する場合があります。これを防ぐためには接合面の表面を削り落とす意味でサンディングをして表面を荒らすと接着剤が染み込み、効果的です。

硬化しても多少弾力のある接着剤の方が有効です。ELAPOR Formと成型プラ部品の接着は中粘度の瞬間接着剤(プラ側)と硬化促進剤(ELAPOR Form側)が有効です。

ELAPOR Form側は硬化促進剤を塗布する前にエンジンシンナーで表面を荒らして乾燥した後に塗布します。

**注意**：瞬間接着剤は目に入ると危険ですので作業中はゴーグルで目を保護してください。

以下は各国語版の説明書イラストに沿って説明します。(P18～23の間)

#### 図1、2 (Abb,1,2)

キットの構成イラストです。部品を確認してください。  
11は補強用のグラスロッドです。適切な長さにカットして使ってください。

#### 図3 (Abb,3)

右側胴体に補強用のグラスロッドを接着します。平らな台の上に置いて曲がらないように接着してください。同じように左側も制作します。接着剤は瞬間接着剤を使用します。

#### 図4 (Abb4)

MPX コネクター(85212)を使用すると機体組み立て時にコネクターが繋がりにコネクターを繋ぐ手間がいりません。ハンダ付けに自信のない方は純正のコネクターの使用を推奨します。プレート40にウイングボルト用のナットを挿入します。

#### 図5 (Abb,5)

図のように補強用のグラスロッドを接着してからキャノピーラッチを接着します。  
プレート40も胴体上面がフラットになるように注意して接着します。  
左側胴体も同じように補強用のグラスロッドを接着してキャノピーラッチを接着します。

#### 図6 (Abb,6)

ブリザードはVテールを1サーボ(エレベーターのみ)と2サーボ(ラダベーター)のどちらでも選択可能です。1サーボの場合はカットしないでください。2サーボの場合は図のようにサーボスペースをカットします。

#### 図7 (Abb,7)

接着剤がサーボケースに侵入しないようにテープを巻き図の位置にサーボを接着します。  
サーボコードは30cm延長して受信機に届くようにします。

#### 図8 (Abb8)

左右の胴体を瞬間接着剤で接着します。

#### 図9 (Abb,9)

図のようにノーズカバー(モーターマウント)を取り付け位置に注意して接着します。

#### 図10 (Abb,10)

図のように胴体後部カバーを瞬間接着剤で接着します。取り付け位置に注意してください。

#### 図11 (Abb,11)

図のように尾翼に補強用のグラスロッドを接着します。左右2枚同じように制作します。  
エレベーターが動くように翼端の付いている部分をカットします。  
数回上下に動かして渋さを取ります。左右2枚同じように制作します。

- 図12** (Abb,12)  
図のようにエレベーターホーンを組み立て接着します。左右2枚同じように製作します。
- 図13** (Abb,13)  
尾翼を接着します。このとき隙間があかないように注意してください。隙間があると接着強度が落ちて危険です。
- 図14** (Abb,14)  
尾翼下面に補強用のグラスロッドを接着します。
- 図15** (Abb,15)  
重心調整用ハッチです。電動バージョンの場合オモリが必要となります。
- 図16** (Abb,16)  
図のように胴体下面に補強用のグラスロッドを接着します。
- 図17** (Abb,17)  
図のように胴体上面に補強用のグラスロッドを接着します。
- 図18** (Abb,18)  
Vテールのリンケージです。図は2サーボの場合です。
- 図19** (Abb,19)  
Vテールのリンケージです。図は1サーボの場合です。つながったピアノ線を使用してください。
- 図20** (Abb,20)  
主翼の左右パネルを接合します。
- 図21** (Abb,21)  
主翼補強用のカーボン角パイプを接着します。  
強度上、非常に重要な部分です。細心の注意を払って作業してください。  
まず、仮組をして収まりをみます。底面だけに接着剤を塗って素早く押し込みます。  
それから、サイド部分に瞬間接着剤を流します。
- 図22~25** (Abb,22~25)  
図のように補強用のグラスロッドを接着します。
- 図26** (Abb,26)  
主翼中央補強カバーを接着します。
- 図27** (Abb,27)  
エルロンサーボを接着します。5分エポキシを使うとよいでしょう。  
MPXコネクター(85214)を使う場合はハンダ付けをします。+、-、信号線を間違えないように作業してください。
- 図28** (Abb,28)  
補強用カーボン角パイプをシールでカバーします。空気抵抗の軽減にも役立ちます。
- 図29** (Abb,29)  
エルロンホーンの組み立ておよび接着をします。ニュートラルを出してイモネジで固定します。左右のエルロンともに仕上げます。
- 図30** (Abb,30)  
主翼上面のサーボカバーをセットします。空力特性のためにも重要です。
- 図31** (Abb,31)  
リンケージカバーを装着します。空力特性の向上ならびにリンケージロッドを保護します。
- 図32** (Abb,32)  
グライダーバージョンの場合はグライダーノーズコーン 42 を装着します。約 200g 軽く仕上がります。
- 図33** (Abb,33)  
ノーマルパワーユニットの装着方法です。
- 図34** (Abb,34)  
チューニングパワーユニットの装着方法です。  
43 のスペーサーが必要です。

**図 35** (Abb,35)

キャノピーに固定ラグを接着します。実際に胴体に付けて位置決めをして下さい。

**図 36** (Abb,36)

組み立て方法です。主翼は2本の皿ネジで固定します。  
MPXコネクターを使った場合オートマチックに小ネターが接続されます。  
純正コネクター使用の場合は左右間違えないように接続してください。

**図 37** (Abb,37)

メカのレイアウトです。  
モーター、アンプ、バッテリー、受信機の順番で搭載します。

**図 44** (Abb,44)

メカ積みの様子です。

**図 38** (Abb,38)

重心位置です。  
主翼前縁から 70mm に合わせます。

**図 39** (Abb,39)

キットの箱等を参考にしてシールを貼って完成です。

**受信機、スピードコントローラー、バッテリーの搭載**

おおまかに重心を合わせ、位置を決めます。  
特にバッテリーは飛行中に移動しないようにマジックテープで固定してください。

**注意:** 受信機のアンテナ線にモーター配線やバッテリー配線を密着させないでください。  
ノイズが受信機に混入しやすくなります。

**重心位置**

重心位置は主翼付け根で前縁から 70mm です。  
重心位置はグライダーにとって、とても重要な要素です。正確に合わせてください。

**舵角の設定**

エレベーター	上下	5 mm	
ラダー	左右	7 mm	
エルロン	上	14 mm	下 6 mm
スポイロン	エルロン	上 12 mm	エレベーター 下 1 mm
スピードキャンパー	上	2 mm	
電動パワーオン時	エレベーター	下	0.5 mm

**シール**

本機体の素材はシールののりが付きにくい素材です。  
先にエンジンシンナーを布に含ませて拭いて表面を軽く荒らします。  
この作業は最大 30 秒以内にしてください。

**初飛行**

**注意:** この機体は上級者向けです。  
初飛行は無理をせず機体に慣れてください。  
風の弱い日に行ない、着陸は、まだバッテリーの残量があるうちに何度かアプローチしておいて余裕をもって着陸します。

株式会社 ハイテックマルチプレックスジャパン <a href="http://www.hitecrd.co.jp">http://www.hitecrd.co.jp</a> 〒140-0012 東京都品川区勝島1-4-19-507 電話: 050-5519-4989、FAX: 03-5767-6301、E-mail: support@hitecrd.co.jp
---

当製品は改良のために予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。